

# ぐびろが丘



編集長 本田 徳鷹 (医学部メディア部)

編集部 長崎大学医学部ぐびろが丘編集部  
長崎医学同窓会  
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号  
☎095-848-5484  
E-mail: ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp

印刷 日本紙工印刷株式会社

## 海外リサーチ

### ベラルーシでの1か月

4年 小野結美佳

こんにちは。私は今年の1月12日〜2月11日の1か月間、リサーチセミナーとして4人でベラルーシ共和国に行ってきました。私は海外でのリサーチにとても興味があったのですが、正直なところ長期間の実習に対して不安なことも多く、応募するかどうか迷っていました。でも、こんな風にフットワークがあまり軽くない私が海外で1か月過ごすなんて、この機会を逃したらもう2度とないかもしれない。学生のうちに、経験できることはたくさん経験したい！そう決意して、普通の旅行ではなかなか行けない国、ベラルーシでのリサーチを志願しました。

ベラルーシという国について、少し紹介したいと思います。ベラルーシは北はバルト三国のリトアニア、南はウクライナ、西はポーランド、東はロシアに囲まれた内陸の国です。旧ソ連だった国なので、公用語はベラルーシ語とロシア語です。私たちは首都のミンスクに約3週間、チェルノブイリ原発事故の影響を大きく受けたゴメリに1週間滞在しました。ベラルーシの紹介でまずははずせないのが、寒さです。今年例年より暖かかったのですが、日本、特に長崎から来た私たちにあってそれは極寒でした。1番寒かった日はマイナス16〜マイナス18℃だったと思います。顔が痛くて、しゃべるのもつらかったです。

私のリサーチのテーマは、日本の医学生とベラルーシの医学生の医療倫理観の違いを調査することでした。アンケート調査をおこなうのは難しい状況であったにもかかわらず、ゴメリ医科大学のみなさんが協力してくださったので、約百人の医学生にアンケートをとることができました。ベラルーシの皆さんのやさしさに本当に感謝しています。また私たちはこのようにそれぞれの研究テーマのもと研究を進めつつ、さらに病院実習に参加し、小児科、産婦人科、循環器内科、外科など様々な科を回りました。日本でもまだほとんどやっていない病院実習はわからないことだらけでしたが、一緒に回ってくれた現地学生ののおかげで先生方にもたくさん質問でき、とても充実した濃い実習になりました。ベラルーシの医療現場ではMRIやCT、シンチグラフィなどが広く取り入れられ、臓器移植にも積極的で、私が思っていたより進んでいる印象でした。病院は1次病院、2次病院、3次病院と段階があり、だんだん高度な医療が行われることになっていきます。患者はまず1次病院を受診し、さらに高度な医療が必要だと判断されると2次病院、3次病院へと紹介されていくスタイルで、医療費は基本的に無料(薬の処方費は別途です)です。このように日本とは全然違う医療制度で、なかなか頭がつかない驚きが大きかったです。

そしてこのリサーチセミナーで私が一番印象に残ったことは、やはり学生との交流です。毎日の病院実習、そしてごほんなど、私たちはいつも現地の学生と一緒に過ごしていました。友達の家でホームパーティー、街の散策、カフェでの雑談、スケートやスノーボードなど数えきれない思い出ができました。こんなにたくさん学生と交流でき、



眼科での実習の様子

たくさんさんの友達ができる海外リサーチはベラルーシが1番なのではないかと思えます。ベラルーシの学生はみんな明るく積極的で、多才です。多くのことを学ぼう、そして楽しもうという意欲がすごいです。私にはとても刺激的でした。こんな友達に出会い話すことができて、私は自分が少し積極的になれたような気が

します。目に見えて変化はないかもしれませんが、でも自分の中では確実に大きな財産になっていっています。気候はとも寒く厳しいですが、ベラルーシの人はとても温かいです。友達はもちろん、1か月過ごした学生寮の寮母さん、私たちのために綿密なスケジュールを用意してくださった先生方、みなさんが本当に暖かく迎

## 海外リサーチ ケニア ビタ地区

4年 川床 健司



小さい頃からアフリカに憧れ、ずっとあの地に立つことを夢見ていた。だから今回アフリカ行きを決意した。・・・なんていうことは全くありませんでした。せっかく海外リサーチという機会を利用するならば普段なかなか行けない場所に行きたいな、じゃあ、やっぱりこの中じゃアフリカかな。恥ずかしいながらもそんな短絡的な発想からケニア行きを決断し、12月24日に日

本を飛び出し、ケニアへと旅立つこととなりました。ケニアでは、首都ナイロビから車で7時間かかる場所にあるビタという地区に1か月間滞在しました。ナイロビは高層ビルが立ち並び、人々はショッピングモールで買い物をする(しかし、そこから少し離れるとスラム街が存在する)など、アフリカに対して持つイメージとはだいぶかけ離れた場所でした。舗装された道なんてなく、家はかやぶきの屋根、道には牛が平然と座り込む、そんな環境でした。滞在する前は現地の人々と馴染めるか、なんて不安もありましたが、そんな不安はすぐににかき消されました。

えてくださいました。普段なかなか感じることはないたくさんさんの刺激、価値観、楽しさ、感動を得ることができたこのリサーチに参加する機会をいただいたことを本当に感謝しています。後輩の皆さんにはぜひ、ベラルーシでの海外リサーチを、私がおすすしめします。



寮での学生とのパーティー

た。この調査では Rapid diagnostic tests (RDTs) というマラリアの迅速診断テストを行なうと共に、採取した血液によるマラリアの DNA 解析、身長、体重、ヘモグロビン値の測定を行いました。もちろん、病院や診療所ではなく、小学校の校庭や広場を借りて行なう、いわゆる青空診療所で検査を実施しました。この青空診療所で1日100人以上の0〜5歳児を対象に検査を行ないましたが、泣き出す子は1人や2人ばかりありません。泣き声が泣き声を誘発し、360度から泣き声が聞こえる、そんな体力を消耗する状況でしたが、空き時間に、検査に来た子供達や小学校の生徒達と遊ぶことで不思議と疲れが吹き飛んでいき、この検査を通して、人と人との触れ合いの重要性を改めて感じる事ができましたように思えます。

悔することは無く、今でも行ってよかったと心から思えます。実際にフィールドワークを体験することで、研究という分野に対して自分がどれだけの偏った考えを持ってたのかを知り、疫学調査の楽しさを知ることができました。このような機会

## 海外リサーチ

### リサーチセミナー活動報告 ドイツ・ビュルツブルグにて

4年 玉城由佳理

2010年12月から2011年2月までの約2か月半、ドイツのビュルツブルグ大学にてリサーチセミナーの実習を行いました。リサーチセミナーとは、普段研究に触れる機会が少ない医学生が基礎系教室で終日研究活動に従事することで、「科学」に触れ、さらなる「医学」の理解を深めることを目的としたプログラムです。たった2か月でも海外で生活することは異文化に触れる一番の方法であるし、しかも基礎教室で実習できるということは本当に素晴らしいことです。それに私は英語のスピーキングに自信がなかったため、英語だらけの環境に身を投じたいという願望がありました。そして実際にビュルツブルグでは期待以上のすばらしい経験を積むことができました。リサーチセミナー実習は前半を神経内科教室、後半を神経生物学教室に配属されました。神経内科教室での実習は、学生や医師の後に毎朝の採血やカンファレンス、問診、骨髄穿刺、CT検査などを見て回りました。この実習は本来のリサーチセミナーのねらいとは異なるものですが、医学の本場と名高いドイツの

会を与えて下さった、熱帯医学研究所の皆川教授、そして何も知らない僕らに調査のことだけでなく、文化、言語など様々なことを教えてくださった現地スタッフの方々、調査に協力してくださった住民の方々には本当に感謝してもし尽くせません。今回の滞在を楽しい思い出として終わらせてしまおうと、お世話になった方々に示しがつかせないので、この経験をもとに、もう少し自分が医療人として今後何ができるかを考えつつ、邁進していきたいと思えます。

違いを学び、絵を鑑賞し、画家のメッセージを受け取り、歴史を知り、王族の生活を垣間見る…。日本では知ることのなかったであろう色々なことを学ぶことができました。

総じて今回のリサーチセミナーでは、実習で学んだ実験手技だけではなく、ドイツの医学生との自立ぶりやPHD学生のレベルの高さ、そしてヨーロッパの文化など様々なことを学ぶことができました。私の人生の宝物ともいえる非常に貴重な体験となりました。

## 海外リサーチ ベラルーシでの 実習を終えて

4年 迎 祐太

2011年1月。正直、行くことになる前は地図上の位置もわからない国だった。ベラルーシという国は東ヨーロッパに位置し、東にロシア、南にウクライナ、西にポーランド、北西にリトアニア、ラトビアと国境を接し、周りに海がない。1991年にソ連から独立、首都はミンスク、人口は970万ほどで、公用語はロシア語に似たベラルーシ語とロシア語だが、ほとんどの人がロシア語を用いる。また、1986年4月26日、現在のウクライナにあるチェルノブイリ原子力発電所における事故により多大な被害を受けた地域としても知られている。

示された国の中で、おそらく日本では最もなじみの薄いであろうこの国がどのようか単純に知りたいと思ったからだった。



▶学生とのホームパーティー



▶婦人科病棟にて記念撮影

今回私が実習先にこの国を希望した理由は、長崎県出身で原爆に関する教育を幼い頃から受けたため、チェルノブイリ原発事故により同じ放射線による被害を受けたベラルーシに興味を持ったというところもあるが、海外でのリサーチ先として提

示された国の中で、おそらく日本では最もなじみの薄いであろうこの国がどのようか単純に知りたいと思ったからだった。

ベラルーシでの研修は病院実習が主で、内科、腫瘍学、小児科、婦人科など様々な科を見学させて頂いた。腫瘍の摘出や血管造影、CT、MRIなど、ちょうど講義が基礎系の内容から臨床系のものに変わったばかりの学年である我々にとって、このようなまだまだあまり見ない機会のない診察や手術を見学することはとても印象的であり、これから学ぶ科目や実習への興味、関心がさらに深まった。また、講義にも参加させ

れた。アイスホッケー観戦やスノーボード、バレエ鑑賞など長崎ではなかなかできないことをしたり、名産のウォッカを飲みながら語りたりなど日々を全く無駄にすることなく、約1ヶ月間の滞在を楽しく過ごすことができた。

おけるリサーチセミナーを通じて、日本とは全く異なる文化や言語、考え方に触れることで様々なことを学ぶことができ、充実した研修に本当に満足している。なかなか行く機会のない国だが、将来ロシア語を勉強して再びベラルーシを訪れた

最後にになりましたが、ベラルーシで学ぶチャンスを与えて頂いた先生方、研修中支えてくれた友人たちに大変感謝しています。ありがとうございました。

## 海外リサーチ

### ヴュルツブルグ

4年 茂呂かおる

昨年12月なかばから2か月間、ドイツのヴュルツブルグ大学に留学しました。



▶Dr.Claus

ヴュルツブルグは、南ドイツのバイエルン州の都市で、フランクフルト空港からICEという急行列車で1時間くらいのところにあります。

ヴュルツブルグは、中世からカトリックの司教が直接治める司教領として栄えてきた歴史ある街です。しかし、第二次世界大戦で壊滅的に破壊されたため、歴史ある街並みが残っているわけではありませんが、初期のプリンスビショップの居城であったマリエンベルグ要塞、世界遺産であるパルク様式のレジデンス(宮殿)など、ところどころに有名な建築物が残っています。景観に興味をもちます。ヴュルツブルグ大学は、レントゲンをはじめ多くのノーベル賞受賞者を輩出したことでも知られています。長崎にとっても重要な、シーボルトの出身大学であるという点でしょう。

今回の留学の目的は、3年後期のリサーチセミナーでヴュルツブルグ大学の Institut für Hygiene und Mikrobiologie で行うことでした。わたしに与えられたテーマは、髄膜炎菌の遺伝子の Correla element という箇所欠損についてです。PCRを繰り返す毎日でした。ラボのスタッフはみな親切で、右も左もわからないわたしに基礎の基礎から根気強く教えてくれました。ラボに中国出身のドクターがいて、月餅を食べる春節をお祝いしたことが印象に残っています。月餅はドイツ人の味覚にはあまり合わなかったようで、「かおる好きなら全部食べて」と言われました。

リサーチのあいまに、実習する機会を与えていただきました。小児感染症病棟は、呼び名が Station MOROとあって、わたしの名字と同じでした。そのせいではないと思いますが、手が空いたときに授業をしてくれた

## サークル紹介

### 陸上部

こんにちは。長崎大学医学部陸上部です。皆さんは陸上というどのようなイメージを思い浮かべますか？走るのが大変そうとか、ただ走るだけというの、面白くないイメージを持っているイメージを持ってはいませんか？

たしかに陸上は基本的に走ることにしかありません。フィールド競技の練習に精を出す部員もいますが、ほとんどはトラック競技を専門としています。そして、週3日の練習のほとんどは走ることに費やします。走ってばかり、というところの皆さんは中学生・高校生時代の体育の持久走の時間を思い出してはいませんか？特に長距離が専門の部員の練習はそのような感じですが、しかし、練習を重ねると、ただ走るだけというところが、実はとても奥が深いことなると気づきます。練習で走るときには、顎を引くこと、背すじを伸ばすこと、腕を振ること、腰の位置が低くならないようにすること、ピッチ、足の接地の仕方など、本当に多くのことに注意します。さらに大会の時には他の競技者との駆け引きも重要になってきます。このように、走ることにいうのは非常に難しいことなのです。

他にも陸上には魅力があります。陸上では

ほとんどどの種目が個人競技なので、自分の力がはつきりとわかります。一生懸命練習をすればタイムは縮んでいきますし、練習をサボっていればタイムは遅くなってしまいます。また、練習がきつければきつほど、終わった後に大きな爽快感を味わうことができます。そして、きつい練習を積んだ末、自己ベストを更新できた時には素直にうれしく思うことができます。また、手軽に練習できることも魅力です。陸上はシューズさえあればいつでも一人でできます。実際、大会の前になると多くの部員が自主的に練習をしています。空いた時間を見つけて、お金をかけず手軽にできるのも陸上の大きな魅力です。

ここまでは陸上の魅力を中心に書きましたが、部活としての医学部陸上部にも多くの魅力があります！

最後にになりましたが、このような機会を与えてくださった小澤先生、ライナー先生をはじめ、素晴らしいホスピタリティでむかえてくれたヴュルツブルグの先生方、友人たち、アドバイスを下さった楠本さん、先輩方、そして支えてくれた家族と友人に、感謝を伝えたいと思います。



▶ローニンにて

てクロスカントリースキーをしたローニン、クリスマスマーケットで有名なニュルンベルグ、日本人観光客の歴史を感じたローテンブルグ、住みやすそうな都市ミュンヘン、世界遺産にも登録された歴史ある美しいバンベルグ：真冬だったため、とても寒く、天気が良いこともめつたになかったのですが、どの街もそれぞれにとても美しく、印象に残っています。

今回の留学で、シーボルトから続くドイツと日本の交流の一部となったと思うと、感慨深く、歴史の重みを感じます。先日から続いている、東日本大震災のことも、ヴュルツブルグから心配してくれて、こういう個人間の関係が、国際的な支援につながっていくのかもしれない、と考えました。

最後にになりましたが、このような機会を与えてくださった小澤先生、ライナー先生をはじめ、素晴らしいホスピタリティでむかえてくれたヴュルツブルグの先生方、友人たち、アドバイスを下さった楠本さん、先輩方、そして支えてくれた家族と友人に、感謝を伝えたいと思います。



▶ローニンにて

最後にになりましたが、このような機会を与えてくださった小澤先生、ライナー先生をはじめ、素晴らしいホスピタリティでむかえてくれたヴュルツブルグの先生方、友人たち、アドバイスを下さった楠本さん、先輩方、そして支えてくれた家族と友人に、感謝を伝えたいと思います。



▶ローニンにて

最後にになりましたが、このような機会を与えてくださった小澤先生、ライナー先生をはじめ、素晴らしいホスピタリティでむかえてくれたヴュルツブルグの先生方、友人たち、アドバイスを下さった楠本さん、先輩方、そして支えてくれた家族と友人に、感謝を伝えたいと思います。

最後にになりましたが、このような機会を与えてくださった小澤先生、ライナー先生をはじめ、素晴らしいホスピタリティでむかえてくれたヴュルツブルグの先生方、友人たち、アドバイスを下さった楠本さん、先輩方、そして支えてくれた家族と友人に、感謝を伝えたいと思います。

### サークル紹介

## 水泳部

こんにちは。長崎大学医学部水泳部です。医学部水泳部の歴史は古く、紆余曲折を経ながらも50年以上の歴史を有する部活です。現在部員は約40名で、男女比がちょうど半々くらいのもとも和気藹々とした部活です。

#### ◆どこで活動しているの??

夏場は長崎大学文芸キャンパスにある教養プールで、冬場は主に松山町の長崎市民総合プールで活動しています。夏場は冷たい水がとても気持ちよく、冬場は温水プールなのでとても快適に練習できます。特に松山町の長崎市民総合プールは全国規模の大会も開くことができるほどの設備が整ったプールです。

#### ◆初心者でも大丈夫??

大丈夫です!現部員の中でも初心者で大学に入ってから水泳を始めた人も多数います。そういった部員もめきめき上達して、大会でもなかなかの成績を取っています。入部してしばらくは、めだかコースという泳法を学ぶコースが設けられ、上級生がコーチとなって手取り足取り徹底指導します。その指導によって全員が4泳法を体得していきます。また、泳力ごとにきめ細やかなコース分けがされており、西医で入賞を目指すコースから、

1年生から6年生までの医学科生・保健学科生が全員出場することができます。個人競技だから盛り上がりませんか。大会の最後にはリーダーがあり、選抜メンバーチームが他大学チームとタイムを競い合います。全員が一丸となって応援し、良い結果が出ると皆の歓声が爆発します。

体力づくり・シエーブアップを目的としたコースマで自分に合ったコースを選択することができます。

#### ◆シエーブアップにもなりますか??

水泳は全身をフルに使うスポーツですので、効率良くシエーブアップすることが出来ます。そして体力づくりには持って来いです。水泳はよく、有酸素運動と無酸素運動の中間のスポーツともいわれます。そのおかげで、ほかのどのスポーツよりも効率よく脂肪を燃焼させることができます☆

#### ◆大会には参加しているのですか??

毎年4月に行われる九州山口医科学学生体育大会、8月に行われる西日本医科学学生総合体育大会・西日本コメディカル学生水泳競技大会など、多数の大会に参加しています。

#### ◆水泳以外の活動はあるのですか??

名前こそ医学部水泳部ですが、水泳だけをしているのではありません。楽しいイベントが盛りだくさん!夏には沖繩の海で真っ黒になるまで遊んだり、秋には部員全員で1泊2日の小旅行に出かけたり、冬にはカキ焼きツアー、スキーツアーに行ったりと、ここには書ききれないほどの楽しい思い出を作っています。解剖が終わった2年生を労う会や、卒業生を送る会、九山の球技大会、OBの先生との飲み会など1年中イベントは充実しています!!



入部希望の方は下記のアドレスまでメールをください!!  
皆さんの入部をお待ちしております。  
主将 3年 高平良太郎  
stay.away.623@docomo.ne.jp

### サークル紹介

## 軟式テニス部

こんにちは。軟式テニス部です。まず軟式テニスですが、前衛と後衛2人1組でゴム製のボールを相手のコートに返し続けるスポーツです。個人の技術もですがそれ以上に2人の信頼関係が必要不可欠です。

#### ◆私達は現在男女約50人で活動しています。

練習日は男子が月・火・木・土曜、女子が月・火・木曜です。練習は男女一緒にしていて、和気あいあい、かつ日々切磋琢磨しています。

軟式テニスの大会は団体戦だけでなく個人戦があるので全員が試合に出られます。なので初心者でも大会に出られ、日頃の練習の成果を試合で発揮することができます。

#### ◆実際に初心者ですが、去年の全医体団体戦では男女ともに優勝しました!!



他部活以外でもよく一緒に遊んでいて仲がいいです。実際「写真部」「東方神起の会」「ジブリの会」「AKB48の会」「たこ焼きパーティー」など数々の会が発足していたり、変な部ではありません。仲がいいんです。「全医体優勝」という、あの感動をもう一度味わうために、まだ味わったことのない1年生のために、「2連覇」目指して頑張っています。今年もたくさんのお新人が入部してくれて、新しい仲間が部員一同大喜びです。これから一緒に頑張ってくださいませ!

## 進級状況

1年生117名中114名、2年生114名中111名、3年生99名中98名、4年生106名中106名、5年生112名中112名が進級した。  
今年度の留年者は7名、休学者は3名、退学者0名であった。

## 平成22年度(第22回)ポンペ賞受賞者

成績優秀者(学業成績 上位3位)

体育系野外活動貢献者



たかたにあゆみ 高谷亜由子



みやざきかずひと 宮崎和人



おおくほゆうた 大久保祐



そのだもとし 園田素史



### 【お詫びと訂正】

ぐびろが丘 第2号 3面に掲載いたしました「第62回西日本医科学学生総合体育大会結果」において、剣道男子個人で優勝された園田さんのお名前に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 園田素人 → (正) 園田素史

### うっしーへの追悼



学内某所にうっしーが亡くなっているのが発見され、この度追悼記事を書くに至りました。授業中に教室に入ってきてイスで寝ていたり、満にはまりこんで寝ていたり、生協のプリンターの上で寝ていたり、たまに木に登ったり、普段から想像できないほど機敏に動いたり...長大医学部生の愛を身に受け、また私たちも授業の台間、その姿に癒されていました。

OB・OGの先生方の中にも彼のことを知っている方も多くいらっしゃると思い、報告させていただきます。

### 《学生の声 in 目安箱》

なぜだか人気のこのコーナー！またまた掲載させていただきました！  
今回は特に下級生にとって役立つ情報が載っているかも……！？

#### @ポリクリってどんな感じなんですか？

E：答え役が自分しかないのでは皆の疑問をまとめて答えます！  
ポリクリは基本的に病院見学です。また、科ごとに講義を受けたり、手術を見学したりします。また患者さんに問診を取ったりもできます。

Ho：先生達からくる質問とかがって難しいんですか？

E：先生によっては難しい質問もきますね。

T：いままでの勉強が役に立ちますか？（まあぶっちゃけあまり覚えてないですけど）

Hi：立ちそうにないけどね…。

Ho：でも授業中にこれポリクリで聞くからなって言う先生もいるよね。

E：覚えてれば役に立つと思います。ただポリクリ中も試験前とは違ったいろんな勉強をする時間があると思うので、どんどん新たに知識を習得するつもりでやってみたらいいと思います。

Hi：病院でいちばん怖い人って誰ですか？

E：先生方は優しいです！

S：ポリクリ中にしたらアウトなことって何ですか？

E：無断欠席は非常に印象がよくないので休む際は連絡いれましょうね。

N：先輩は何をやらかしましたか？

E：居眠りです！キリッ（←すみません）

A：班のメンバーって重要ですよね？

Y：空気の読める人がいいなあ…いや、空気を読もうとする気持ちがあればまだいい。

S：誰かそういう人いるの？

Hi：彼はこういうときに空気読めないからね…。

Ni：彼とか（笑）

E：メンバーはものすごく重要です。人間関係には特に気をつけてください。

T：こいつはもうダメだとおもったらどうしたらいいですか？

E：医育センターにいい臨床心理士さんがいらっしやいます！！

Ho：五島とか少人数でいくから余計大変そうですね…。

Hi：あいつと一緒にいたら俺とか帰るよ。マジで。

A：俺お祓い行っちゃったよ…。

T：俺も来年行きます…。

E：…それぞれ已むに已まれぬ事情があるようです。

Hi：早く帰ろうと思えば帰れるんですか？

E：大体の科は5時までに帰れます。長い手術を見学していたり、夕方にカンファや勉強会がある科は遅くなる場合があります。

T：ポリクリで何が手に入りますか？

E：それぞれの科についての知識はもちろん、いろんなところでコミュニケーション能力を鍛えられると思います。また、長大病院のそれぞれの科の雰囲気わかります。今後の将来を決める重要な実習なので、しっかり受けた方がいいと思います。また卒業生の話では、ポリクリで学んだ知識はよく定着するので意外と国試対策にも役立つようですよ！  
以上、ポリクリに関してお答えしました！

#### @CBTについて詳しく知りたいです。

Hi：CBTって何の略だっけ。

N：クエスチョンバンクテスト。

E：それQじゃねーか。

A：CBTはComputer Based Test。5年生の病院実習前にコンピュータを使った試験で4年間の学習内容の定着を確かめるものです。

T：どれくらい勉強したらいいんですかね。

S：早い人は9月に始めてたよ。

E：え、俺3日前なんだけど…。

N：勇者っすね。

Y：※良い子はマネしないでください！

S：それはさすがに運がよかったとしか言いようがない。

Ho：周りが始めた頃に始めるぐらいでちょうどいいですよ。まああとは一日中パソコンが向かう体力さえあれば問題ないです。

#### @勧誘について全体的にどう思いますか？

A：個人的な意見ですけど、少し疑問を感じる部分があります。

Hi：ああ、僕とか。

T：まあ、それはそうとして…Aさんのにはどんな所に疑問を感じますか？

A：自分が番号を知らせた覚えのない部活からいきなり電話がかかってくるのは怖いですね。

S：確かにそんな感じしたけど電話がないとそもそもまず勧誘できないよね。

E：ホームページでもいいけど、絶対それじゃこないしね。

N：この勧誘があるから長崎医科体育大学としてやっていけるんや！

A：誰が得するんだそれ…。

Y：生協パーティーでの勧誘だけで50年存続してる部活もあるよ。  
まあ、生協パーティー終わった時点でも知らない人も多いけど、それでも入るからね。

A：活動自体がパフォーマンスになったりする場合もありますからね。

Ho：じゃあ正直1年生がどう考えてるかをアンケートをとってみますか。

#### @OSCEっていうのは何ですか？

S：診察の実技試験です。5種類の診察と医療面接を行います。

T：何が大変なんですか？

A：やっぱり外科ですね。練習に専用の器具を使うんだけど、それがシミュレーター室の予約が取れなくてねえ…。

Ho：本番でも清潔にしないといけないから動作を慎重にしないといけないもんねえ。

E：あとは医療面接も大変だよ。事前に考えてた通りに進められなかったり、時間も考えなきゃいけないし。

メディア部ではこのような意見や今回の記事に対する感想を随時受け付けております！たったの一言でもかまいません！  
ぜひ医育支援センター前の目安箱に投函、もしくはryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jpまでメールお願いします！ (文責：江原)

### 編集後記

年に三回という限られた回数で発行ですが、長崎外の同窓生の先輩方からも反響があり、我々のやる気にも繋がっております。この場を借りて感謝の意を示したいと思っております。今回は対談部分も増量してみました。全体としての内容ももう少し学生らしさを押し出せるのではないかと部員一同画策しております！長先生の皆さん、たった一度の医学生生活、新聞作って楽しむのもいいと思いますよ！  
本田徳鷹

今回も一部編集に携わらせて頂きました次期編集長？の山本です。「マス」とはともや言えないメディア部ですが、それだけに己の器にあわせた規模と内容でぼちぼちと活動を続けていこうと思っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。コンセプトは「日常」です。  
山本直毅

今回から、対話に大量のメンバーが加入してくれてうれしい限りです！ただ、メンバーの高齢化が進行しているので、下級生で興味をお持ちのみなさん!!ぜひ見学にきませんか??やさしい先輩がいっぱいいますよ！待ってます！  
平野仁士

「ぐびろが丘」を手にとったいただきありがとうございます。今回は下の学年の参考になればと思いい、話題を選ばせていただきました。今後こういった企画をやってみたい！ということがあるば遠慮無くお知らせください！  
江原大輔

こんにちは。ポンペ編集委員の、4年生の川床健司と小嶋翔子です。  
ポンペ編集委員は、教授をはじめとする先生方と学生の私達で構成され、長大医学部の同窓会誌を作っています。

さらに、学生の私達はこの『ぐびろが丘』の編集にも携わっています。

ぐびろが丘は年に3回発行され、学生生活や行事などを載せています。つまり、学生中心の新聞なんです!!皆さんに楽しく読んでもらうため、もっといいものにしていきたいので、私達を見かけたら要望やアイデアをどんどん言ってください☆  
川床健司・小嶋翔子